

北海道立函館水産試験場 試験調査船 金星丸

令和8年度 上架工事仕様書(甲板部)

I 船体工事 金星丸(151トン)

(1) 入出渠及び上下架工事

入渠後、船体を安全に上架の上、工事を行い下架後、係船とすること。

上下架に際しては船底構造物(計量魚探等の発信部)が損傷することのないよう十分配慮すること。

- ・船台については事前に工事監督員と協議すること。
- ・船装具保管用の場所(雨、風、雪のあたらない場所)を用意すること。

(2) 船体外板水洗い作業

船底外板に付着した海草、貝類を上架後すぐに除去し、船底外板及び船側外板の水洗いをを行うこと。

(船底栓開放復旧、海水箱、スラスターカバー、ADCPカバー含む)

船底外板 440㎡、船側外板 242㎡

- ・各カバー等の開放復旧は工事監督員の指示に従い工事の進行に遅延が出ることがないようにすること。

(3) 船体足場組及び昇降用タラップ設置工事

船側外板、船底外板、(レーダーマスト、船首尾マスト、化粧煙突等含む。)の錆落とし並びに防錆塗装等に必要な足場組を行い、片舷に昇降用タラップを設けること。

- ・船尾マストについては工事監督員と協議し指示に従うこと。

(4) 木甲板、船体構造物、艀装品等、被覆工事

全木甲板をベニヤ板にて被覆を行い工事完了後撤去すること。

雨具格納所兼ウェット研究室、船内通路、操舵室、機関監視室、無線室、厨房等も含む。(ただし、船内については工事監督員の指示に従い、巻きダンボールの上にブルーシート及び一部ベニヤ板にて被覆を行うこと。)

- ・木甲板被覆のベニヤ板は下架後工事監督員の指示により速やかに撤去すること。
- ・船内養生撤去後は速やかに専門業者による船内清掃を行うこと。
- ・サロンは本船にて施工を行う。
- ・CTDハウス取り外し後、倉庫にて保管する事。
- ・船尾の歩行場所は滑り止め(ジュウタン等により)を施工すること。

(5) 持ち運び式消火器類消火剤詰め替え及び炭酸ガス検量作業

持ち運び式泡消火器の消火剤を詰め替え復旧すること。炭酸ガス消火器についてはガス検量を行うこと。

初田製作所（泡消火器） S F S - 1 0

・消火剤 詰め替え及び予備剤 2 本分 9 ^{リットル} 2 本

初田製作所（炭酸ガス消火器） S H C - 1 5

・炭酸ガス検量 2 本

・炭酸ガス消火器点検結果報告書を提出すること。

(6) 船底保護アルミ板新替工事

保護アルミAB-3、保護アルミAB-3（1/2）新替を行うこと。 保護アルミAB-3 4 5 枚

保護アルミAB-3（1/2） 3 枚

・パテ他、雑材を支給すること。

(7) 波止弁（船外逆止弁）及びトイレ排水系統三方弁点検整備

・波止弁の点検整備。

5 0 S × 2 6 5 S × 3 1 0 0 S × 1

0 リング P-150 × 1 本、G-115 × 3 本、G-100 × 2 本

・三方弁の点検整備

三方弁 × 1

・波止弁及び付属配管取り外し整備

・取付座面確認不良の場合は肉盛修正後取付

・取付パッキン類新替交換

II 塗装工事（塗料は中国塗料とする。）

塗装工事施工に関し天候の影響や人員配置を十分考慮した上で効力検査までに終えるよう工事の進行に遅延が出ないようにすること。

・基本塗料は中国塗料のエポキシ樹脂系錆止と塩化ゴム系（仕上色）を使用すること。

・工事工程に関し工事監督員と事前に十分協議すること（塗装箇所の優先順等）。

(1) 船底外板及び船側外板塗装工事

①船底外板(440m²)塗装工事

サンダー掛け		1 回	50m ²
エピコンジンクリッチプライマー	T/U	1 回	50m ²
バンノー 5 0 0	T/U	1 回	50m ²
シープレミア 1000	A/O	2 回	880m ²

②船側外板(242m²)塗装

サンダー掛け		1 回	50m ²
エピコンジンクリッチプライマー	T/U	1 回	50m ²
バンノー 5 0 0	T/U	1 回	50m ²
アクリ 8 0 0 ST 上塗り J 白	A/0	2 回	484m ²

(2) 内舷、化粧煙突、船体構造物(揚錨機、アルミ箱類、ブーム等)及びその他の
艀装品等塗装工事

- ・各部の塗装色は船体構造物を白色、内舷露出部を若草色、甲板機器類を若竹色、床面と内舷の境目をデッキ色とし、その他については工事監督員の指示とする。
- ・ただし、化粧煙突上部は黒色耐熱塗料を塗装すること。

サンダー掛け		1 回	120m ²
バンノー 5 0 0	T/U	1 回	240m ²
アクリ 8 0 0 ST上塗り J	A/0	1 回	600m ²

- ・船尾出入口及び通路内、船内通路、甲板長倉庫内部及び出入口部、ウェット研究室出入口、船首マンホール、L P ガスボンベ室格納所、スラスター室出入口部、魚倉出入口部、脱出口、蓄電池室出入口部、漁具庫出入口部及び舵機室出入口部の各内部、救命浮環 4 個を含む。

(3) ウォーターウェイ塗装工事

サンダー掛け		1 回	4m ²
バンノー 5 0 0 黒	A/0	1 回	80m ²

(4) 清水タンク、雑用清水タンク塗装工事

各タンク内の剥離部分の塗装を行い、乾燥後あく抜き 3 回、及び水質検査を行ない、検査成績表を提出すること。

①清水タンク	F. P. T (船首バラストタンク)	11.95トン	クリンキーパー
	F. W. T (船尾左舷清水タンク)	3.42トン	クリンキーパー
	F. W. T (船尾右舷清水タンク)	3.42トン	クリンキーパー
②雑用清水タンク	D. W. T (船尾左舷雑用清水タンク)	3.22トン	クリンキーパー
	D. W. T (船尾右舷雑用清水タンク)	3.22トン	クリンキーパー
	マンホールパッキン新替え	5 枚	
	あく抜き	3 回	
	水質検査	一式	

(5) 各部マーク記入塗装工事

化粧煙突法人マーク、船首尾船名、船籍港、漁船登録番号、空中線トランク注意書き、ドラフトマーク、救難設備収納箱、各部名称その他工事監督員の指示により記入すること。

- ・各塗装色は工事監督員の指示に従うこと。

(6) 船首楼甲板及びステージ等フェロックス塗装工事

船首楼甲板、船首ステージ、各ステップ等に発錆部錆落とし、錆止塗装後フェロックスもしくはネオガードスパイク(緑色、白色)を塗装すること。

但し、船首ブルワークの一部、観測用ステージ、船尾遮浪扉は白色とすること。

この他監督員の指示するところに砂打ち塗装すること。

Ⅲ 鉄等工事

(1) 錨及び錨鎖関係工事

錨はドックフロアに繰り出しソリュウション塗装を行うこと。

錨鎖庫内を清掃、錆落とし後防錆塗装(エコマックス)を行うこと。

両舷錨鎖は節マーク交換、節マーク部位塗装(各節指定色)を行い格納復旧すること。

- ・錨鎖格納の際は左右舷振り替えること。

- ・錨及び節マーク部位塗装(各節指定色)は重ね塗りをを行うこと。

節マーク色 アクリ 800ST赤、白、黄

- ・工事方法等について工事監督員と十分協議すること。

(2) 船尾マスト梯子

剥離箇所を溶接修理し錆止め塗装後上塗りで塗装すること。

(3) トロールウィンチ内側チェーンカバー作成。

(4) プロパンガス室扉整備

パッキン交換及び扉腐食箇所のサンダー掛け、錆止め塗装すること。

腐食がひどい箇所については肉盛溶接で補修すること。

(5) 船側ポールド周りの腐食箇所修理

船側ポールド10箇所の腐食部分をサンダー掛け、腐食がひどい箇所については肉盛溶接で補修すること。

補修後、船側外板と同じ要領で塗装すること。

(6) エア抜きヘッド交換他工事

船尾1カ所のL0エア抜きヘッドを取り外し新しいものと交換すること。

- ・空気管頭 65A グースネック型 1個

IV 電気工事

(1) オートパイロット点検整備工事

ジャイロコンパス CMZ700S、オートパイロット PT500 の点検整備を行い、作動確認を行うこと。

- ・支持液取替 V8814YK 1 リットル
- ・絶縁液 V8109TP及び水銀取替 8109PN 1 式
- ・船尾舵機室管制箱 (増締め) 1 式
- ・各部作動確認、(船尾舵機室管制箱含む) 1 式

(2) 電磁ログ 点検整備工事

横河電子機器(株) EML500-HV2の船底部センサー部、マスターユニット及び指示器の点検整備を行い、試運転時に誤差修正を行うこと。 1 式

(3) カラー魚群探知機・送受波器点検整備工事

古野電気(株) FCV-1500 1 台

- ・モニター及び送受波器点検整備を行うこと。
- ・試運転時作動確認のこと。

(4) 火災警報感知器点検整備工事

船内各所の火災警報感知器を作動確認すること。

- ・火災警報感知器検査成績表を提出すること。

(5) カラーネットレコーダー点検整備復旧工事

古野電気(株) ネットレコーダー CN-2410点検整備を行うこと。

- ・ネットレコーダー本体CN-2410の送受波器整備をおこなうこと。 1 台

V 厨房内工事

(1) ディスポーザー点検整備工事

ディスポーザー本体(三和厨理SD-22BS)内部のボルト及びハンマーを交換すること。

- ボルト 2本
- ハンマー 2個

(2) 冷蔵庫、製氷器薬品洗浄及び点検整備、不良部品交換工事

・ホシザキテーブル冷蔵庫	RT-120SNG、RT-150SNG	各 1 台
・ホシザキテーブル冷凍庫	FT-120SNG	1 台
・ホシザキ製氷器	IM-35TL-1	凝縮器ファンモーター 1 個
		凝縮ファン 1 個
		ファンモーターC 3 個
		ポンプAYパーツ 1 個
		ドレンホース 1 個
		薬品洗浄(製氷器庫内清掃含む)各 1 式

(3) L P ガス漏洩検査及び安全弁圧力検査工事

L P ガスの漏洩検査及び安全弁の圧力検査を行うこと。尚、漏洩があった場合については補修を行うこと。

* ガス器具については着火確認を行うこと。

(機関部)

- 機関室床への保護材敷き、各始動盤の養生及び機器搬出用開口部の開放復旧を行うこと
- 分解した付属機器は船内作業の安全確保上、船内放置せず陸揚げすること
- 上架工事に伴い汚損や破損した個所は塗装・修復を行うこと
- 復旧後の塗装が困難な機器は組立の時前に塗装実施のこと
- 全整備後、海上試運転を行うこと。

I 主機関 ヤンマー：T240ET2 1300PS 1基

1. シリンダーカバー工事

- (1) シリンダーカバー取外し、分解
 - (2) シリンダーカバー洗浄、カーボン除去掃除
 - (3) 水圧テスト (0.4MPa)
 - (4) 組立、復旧 (吸排気管等の取外し、洗浄復旧、燃焼室カーボン除去清掃を含む)
- (交換部品)

・カバーパッキン1.0 SUS304	1 3 4 6 7 3 - 0 1 3 4 1	6本
・水口Oリング (上) P-22A	2 4 3 1 6 - 3 5 0 2 2 0	30本
・水口Oリング (下) P-20	2 4 3 1 1 - 0 0 0 2 0 0	24本
・弁腕ポート台Oリング P-10	2 4 3 1 1 - 0 0 0 1 0 0	6本
・高圧管用ホルダーOリング (上)	2 4 3 2 6 - 0 0 0 3 0 0	12本
・高圧管用ホルダーOリング (下)	2 4 3 1 6 - 0 0 0 2 0 0	6本
・吸気ガスケット	4 3 4 0 0 - 0 0 3 4 9 0	6枚
・排気ガスケット	1 4 7 6 7 3 - 1 3 2 5 0	10枚
・ヘッド盲蓋パッキン	1 4 6 6 1 3 - 1 1 7 1 0	12枚
・ヘッド盲蓋カバー (シリンダーヘッド)	1 4 6 6 1 3 - 1 1 7 0 0	12枚
・過給機ガス入口パッキン	4 3 4 0 0 - 0 0 3 5 0 0	5枚
・始動弁パッキン	1 5 0 6 2 3 - 7 1 0 9 0	12枚
・始動弁Oリング	2 4 3 1 6 - 0 0 0 4 2 0	6本
・シリンダー側蓋パッキン	1 5 0 6 2 3 - 0 1 4 3 3	6本
・弁腕室パッキン	1 3 4 6 7 3 - 1 1 3 1 1	6本
・弁腕室蓋パッキン	1 3 4 6 7 3 - 1 1 8 3 0	6本
・高圧管用オイルシール	1 3 4 6 7 3 - 1 1 9 3 1	6個
・過給機スイコミフィルター	XNN433422	1枚
・インジェクタック取付パッキン (マル 12)	2 3 4 1 4 - 1 2 0 0 0 0	6枚
・主機FOVPターミナル用シールワッシャー20×1.2	1 5 3 6 7 2 - 5 9 9 7 0	24個
・〃 パッキン20×1.5	2 3 4 1 5 - 2 0 1 5 0 0	24個
・主機弁腕ターミナル用主管銅パッキン 28	2 3 4 1 4 - 2 8 0 0 0 0	2枚
・主機弁腕ターミナル用シリンダー側銅パッキン20	2 3 4 1 4 - 2 0 0 0 0 0	12枚

2. 吸排気弁及び動弁装置工事

- (1) 吸排気弁分解洗浄、摺合わせ
 - (2) 組立・復旧
- (交換部品)

・ステムシール	1 4 7 6 4 4 - 1 1 5 8 1	24個
---------	-------------------------	-----

3. 主機燃料及び潤滑油こし器掃除、蓋Oリング取替え

①第1FO濾器 ②第2FO濾器 ③FO流量計

④第1LO濾器 ⑤第2LO濾器

計5箇所

(交換部品)

・燃料油第1濾器Oリング(蓋用)	G-105 24326-001050	4本
・燃料油第2濾器Oリング(締付ナット用)	20-PE/B-#1LE-1-X/D A-18	4本
・燃料油第2濾器ゴムパッキン(ケース座用)	137600-55910	4個
・潤滑油第一コシ器蓋Oリング (1AG 150.0)	24321-001500	2本
・潤滑油第二コシ器蓋Oリング (1AG 150.0)	24321-001500	2本

4. 主機燃料噴射弁整備

(1) 分解掃除、部品交換、組立

(2) 噴射圧力調整

(交換部品)

・ノズルチップ	1 5 1 6 2 4－5 3 0 0 0	6個
・パッキン	1 3 7 6 0 0－5 3 0 9 0	6枚
・平行ピン	1 3 8 6 1 3－5 3 2 0 0	12個
・銅パッキン マル1 2	2 3 4 1 4－1 2 0 0 0 0	本船支給
・Oリング	2 4 3 1 6－0 0 0 4 2 0	本船支給
・Oリング 4D P44.0	2 4 3 1 6－0 0 0 4 4 0	本船支給
・継手Oリング 2 P18.0	2 4 3 1 2－0 0 0 1 8 0	本船支給

5. 各主要箇所計測

(1) 主要箇所計測

① クランクデフレクション	計測 (上架前・下架後・試運転後)
② 吸排気弁棒外径 2 カ所	計測
③ 吸排気弁案内内径 2 カ所	計測
④ 吸排気弁座当たり外径	計測 (摺合せ後計測)
⑤ 吸排気弁傘厚み	計測 (摺合せ後計測)
⑥ 吸排気弁座シート巾	計測 (摺合せ後計測)
⑦ 吸排気弁腕メタル隙間	計測
⑧ 船尾管隙間	計測 (上架直後)

(2) 主要箇所の探傷検査 カラーチェック施行

① シリンダカバー燃焼面	
② ピストン頂面	
③ 吸排気弁棒 (使用雑材等)	
・カラーチェックスプレーセット	1組

II 発電機関 ヤンマー：6HAL2-HTN 217PS (左舷機)

1. シリンダーカバー工事

- (1) カバー取外し、分解
- (2) 洗浄、カーボン除去掃除、水圧テスト (0.3MPa)
- (3) ピストン頂面カーボン除去
- (4) 組立、復旧 (吸気管等の取外し、燃焼室カーボン除去、排気管清掃を含む)
(交換部品)

・ヘッドガスケット	1 2 6 6 2 5 - 0 1 3 3 0	2枚
・吸気マニホールドパッキン	1 2 6 6 3 5 - 1 2 1 3 1	6枚
・排気マニホールドパッキン	1 2 6 6 3 4 - 1 3 2 1 1	6枚
・排気マニホールド蓋ガスケット	1 2 3 6 7 2 - 1 3 2 2 0	2枚
・クランク室ガスケット	1 2 6 6 5 0 - 0 1 4 1 1	2枚
・ICエアダクトパッキン	1 2 6 6 2 5 - 1 8 1 5 1	1枚
・清水冷却器Outパッキン	1 2 6 6 6 0 - 4 9 4 2 0	1枚
・清水冷却器Inパッキン	1 2 6 6 6 0 - 4 9 3 6 0	1枚
・清水リバースOutパッキン	1 2 6 6 6 0 - 4 9 4 3 0	1枚
・Oリング 1A G45	2 4 3 2 1 - 0 0 0 4 5 0	4本
・Oリング 1A G55	2 4 3 2 1 - 0 0 0 5 5 0	2本
・弁腕室ゴム	1 2 4 4 1 1 - 1 1 3 2 0	4本
・プレフィルター	1 2 7 6 9 5 - 1 8 5 3 0	2枚

2. 吸排気弁及び動弁装置工事

- (1) 吸排気弁分解洗浄、摺合わせ
- (2) ステムシール交換
- (3) カム軸 摺動面点検
- (4) 組立・復旧
(交換部品)

・ステムシール	1 2 6 4 8 0 - 1 1 1 5 0	12個
---------	-------------------------	-----

3. 発電機関燃料噴射弁整備

- (1) 分解掃除、部品交換、組立
- (2) 噴射圧力調整
(交換部品)

・ノズル	1 2 6 6 6 0 - 5 3 0 0 0	6個
・ノズルパッキン T=1.5	1 2 6 6 5 0 - 1 1 8 4 0	6個
・ガスケット PK(材E)	1 4 4 6 2 6 - 5 3 2 0 0	6枚
・ロックピン	1 0 3 2 0 0 - 5 3 2 1 0	12個
・漏油管ターミナルボルト	2 3 8 5 7 - 0 3 0 0 0 0	6本
・ノズルシール シール(FOV)	1 2 6 6 5 0 - 1 1 9 6 0	6個
・パッキン マル (8×1.0)	2 3 4 1 4 - 0 8 0 0 0 0	12枚

4. 各主要箇所の計測及び探傷検査施行

- (1) 主要箇所計測
 - ① クランクデフレクション 計測 (上架前・下架後)
 - ② 吸排気弁棒外径2カ所 計測
 - ③ 吸排気弁案内内径2カ所 計測
 - ④ 吸排気弁座当たり外径 計測 (摺合せ後計測)
 - ⑤ 吸排気弁座厚さ 計測 (摺合せ後計測)
 - ⑥ 吸排気弁座シート巾 計測 (摺合せ後計測)
 - ⑦ 吸排気弁腕メタル隙間 計測
 - ⑧ 吸排気弁の沈下量 計測 (摺合わせ後計測)
- (2) 主要箇所の探傷検査 カラーチェック施行
 - ① シリンダカバー燃焼面
 - ② ピストン頂面
 - ③ 吸排気弁棒

Ⅲ 機関一般工事

1. プロペラ(カキ: CPR-53AVCN-1)・ポンプジェット(カキ: SPJ57RD)工事

- (1) ボス内の海水混入点検後グリス補給
- (2) プロペラ翼サンダー研磨
- (3) ロープガード取外し、保護亜鉛点検、掃除
- (4) 組立・復旧、ペラコート塗布

(交換部品)

・ペラクリーン	中国塗料ニューペラクリンPLUS	1Set
・グリス	出光エポネックス0 # 18L缶	1缶
・ボスドレンプラグ	ST3503814	2個
・ボスプラグ	ST3501414	2個
・ポンプジェットボス取付リング	図番56	2本

2. 軸封装置(スタンパー: C-209)整備、固定摺動リング削正、防蝕プラグ取替、復旧

- (1) 固定摺動リング摺動面削正
- (2) 防食プラグ取替え
- (3) 組立・復旧

(交換部品) 図面: S007039A

・Oリング	Φ3 固定摺動リング用	図番6	1本
・防蝕プラグ	C-209用 ZN, C4622 R3/8	図番28	2個

3. 廃油ビルジ処理および各機チャンバー掃除

- (1) 廃油抜き取り・主機サンプタンク・廃油タンク・補機関×1 計5.0KL
- (2) 主機関、補機関×1、各チャンバー内掃除
- (3) 機関室内ビルジ抜き取り(2.0KL)
- (4) 廃油・ビルジ処理証明書提出

(交換部品)

・マンホールパッキン	2枚
------------	----

4. サニタリーポンプ整備(大東 MCQH-40)

- (1) ポンプ分解整備
- (2) 部品交換
- (3) 取付復旧

(交換部品)

・インペラー	部品番号003	1枚
・インペラーキー	103	1個
・インペラーナット	120	1個
・インペラーワッシャー	124	1個
・シートパッキン(ケースキャップ)	532	2枚
・シートパッキン(ケーシングキャップ)	533	1枚
・Oリング(ケーシング取付) AS568-272	050	1本
・メカニカルシール BEA560030N	520	1個

5. 冷凍装置(日新 NW-71100)整備

- (1) 凝縮器水室カバー開放清掃防蝕塗装、保護亜鉛取替え
- (2) サクションフィルター、モレキュラシーブ取替え、潤滑油フィルター
- (3) 点検掃除、潤滑油取替え・令和8年度法定点検(空調機含む)検査報告書提出。

(交換部品)

・コンデンサーカバーパッキン	457φ溝型	2本
・仕切り用溝型パッキン	6mm	2m
・保護亜鉛		本船支給
・モレキュラシーブ粒状500g入り缶		3缶
・オイルパーパ-エレメント		1個
・オイルパーパ-エレメントケース用Oリング		3個
・溝型パッキン		3枚
・潤滑油スニツ 3GSD		20L
・蓋パッキン・フェルト		1式

IV 電気工事

1. 船内外機器及び配線、絶縁抵抗測定・不良箇所修理（計測記録書提出）
2. 上架、下架時にウエルダー積込みおよび配線作業
3. 機関室軸流ファン整備

- (1) 開放、電動機分解、清掃、乾燥、点検、組立
- (2) 交換用電動機ケース固定金具、製作（計8枚）
- (3) 交換取付後、各清掃塗装、組立、本船復旧、試運転
（塗装は切換箇所プライマー1回、錆止め1回後、上塗り1回）

（交換部品）

- | | |
|--------------------|----|
| ・ベアリング6306ZZ | 4個 |
| ・板 SUS304 t4×1m×2m | 1枚 |

V その他の工事

1. 配管取替工事（海水配管は亜鉛メッキ施行、塗装等付帯工事含む）

- (1) 海水配管点検解放時不良配管取替工事（不良箇所が生じない場合は予備配管作成とする）

- | | | |
|------------|--------|-------|
| ・高圧鋼管 | 32A配管 | 50.0m |
| ・フランジ | 5K-32A | 8枚 |
| ・エルボ90° | 5K-32A | 8枚 |
| ・ステンレス配管 | 25A | 10.0m |
| ・ステンレスフランジ | 5K-25A | 4枚 |

- (2) トイレ便器（左右2箇所、バルブから便器本体まで）海水配管作成

- | | |
|-------|----|
| ・必要資材 | 2式 |
|-------|----|

VI 本船工事

1. 減速装置工事（ニカタコンバーター：MGR-1843VC37）工事

- (1) 潤滑油冷却器開放掃除、保護亜鉛点検取替え、復旧（水室カバーはハイト40塗装）

- (2) ストレナー掃除

（交換部品 ①L0クーラー）

- | | | | |
|-------------------------|------|---------------|----|
| ・クーラー アエン M30×2 M6スタッド付 | 図番4 | Y31-22A002908 | 4個 |
| ・クーラー水室 船首カバー ガスケット | 図番11 | Y31-221041654 | 1個 |
| ・クーラー水室 船首側蓋 ガスケット | 図番14 | Y31-221041655 | 1個 |
| ・クーラー ZN取付 ガスケット | 図番3 | Y31-221041656 | 4個 |
| ・クーラー ZNブラケット取付 ガスケット | 図番2 | Y31-221041657 | 4個 |
| ・クーラー Oリング | 図番8 | N048006043 | 6本 |

（交換部品 ②ストレナー）

- | | | | |
|---------------------------|------------|----------------|----|
| ・クラッチ嵌脱弁ストレナーOリング | N048006035 | 54.4A×3.1φ | 2本 |
| ・予備MG・P吸入用ガスケット | 221109927A | 102.0×0.8t | 1枚 |
| ・予備CPP P吸入用ガスケット | 221109927A | 102.0×0.8t | 1枚 |
| ・予備MGP機付MGPストレナー銅パッキン | N370263615 | 28d×36D | 1枚 |
| ・予備P濾器配管Oリング Φ64.4×3.1 | 図番3 | Y31-N048010042 | 1個 |
| ・オートクリーナー蓋ガスケット 100d×0.8t | 図番4 | Y31-221108129 | 1個 |

2. 電子温調弁整備（M-SYSTEM：CPR-111-AB 口径100A）

- (1) 取外し作動部、流体通路部点検

- (2) Oリング取替え 復旧

（交換部品）

- | | | |
|------------|--------------------|----|
| ・カバーOリング | 1517-36 | 2本 |
| ・軸用Oリング | P-16 | 4本 |
| ・軸用テフロンリング | 内径16.0×外径20.0×厚1.5 | 2個 |

3. 燃料油清浄機整備 (アモイト : AJ-700B)

(1) 燃料油エレメント交換、復旧

(2) Oリング取替え 復旧

(交換部品)

・エレメント (洗浄能力10 μ)	5本
・水分離槽蓋パッキン	1本
・ROTフィルター蓋Oリング	1本
・Oリング (エレメント取付用)	5本

4. 各海水こし器整備

(1) 解放掃除、ケーシング内部および中籠の錆取り

(2) ケーシング内部はエピコン黒、中籠はローバル塗装 (塗料 本船支給)

(3) 保護亜鉛および蓋Oリング取替、復旧

(交換部品)

・保護亜鉛	D30×40×M10	10個
・保護亜鉛	D30×40×M8	10個
・補機海水濾し器蓋Oリング	P-85	4本
・冷凍機/ヒール 蓋Oリング	1517-24	2本
・サニター/空調機/スラスター蓋Oリング	1517-21	3本
・作動油蓋Oリング	P-150	1本
・主機蓋Oリング	G-120	2本

5. 補機清水クーラー保護亜鉛交換

(1) 保護亜鉛交換・復旧

(交換部品)

・パッキン (フランジ用)	1 4 5 6 4 0 - 0 9 3 3 1	16枚
・パッキン (ホゴアエンヨウ)	1 3 2 3 1 0 - 0 9 3 3 0	16枚
・保護亜鉛 40×40	2 7 2 0 0 - 4 0 0 4 0 0	16個

6. 主機前油圧系統分解点検整備 (新潟コンバーター製 型式 : SGC100M-51E 製造No : SG112310)

(1) 増速装置LOクーラー保護亜鉛取替え

(交換部品)

・ラインクーラー保護亜鉛フラグ付	図面 : Y40607513	No19	Φ27×55	4個
------------------	----------------	------	--------	----

(2) ラインLOクーラー、チューブ掃除保護亜鉛取替え

(交換部品)

・ラインクーラー保護亜鉛フラグ付	〃	No21	Φ35×105	2個
・ISV型サクションフィルターOリング	図面 : U20049B	No17	G-180 Φ5.5	2本
・ISV型サクションフィルターOリング	〃	No18	G-140 Φ3.1	2本
・ISV型サクションフィルターパッキン	〃	No19	180D×145×2t	2枚
・単式濾し器 MSD-S100TS-200M型 蓋用 Oリング		G-209	Φ3.0	1枚
・ラインクーラーS側蓋ガasketB	〃	No25	340×270×1.5t	1枚
・ラインクーラーF側蓋ガasketA	〃	No24	340×270×1.5t	1枚
・LO交換	コスモギヤーSE150 (20Lペール缶)			5缶

7. 潤滑油清浄機整備 (アモイト : HC-50-81BS)

(1) 潤滑油エレメント交換、Oリング取替え復旧

(2) 回転体掃除、Vベルト取替え 復旧

(交換部品)

・エレメント		3個
・Oリング (ケーシング用)	295×4.5	2本
・Oリング (蝶ナット用)	P-28	1本
・Oリング	P-40	1本
・回転体蓋Oリング	AS568-275	1本
・Vベルト	RED A-38	2本

(無線部)

次に記載する一般装置及びGMDSS設備については、①電波法及び②船舶安全法の事前データーを作成し、無線局並びに運輸局の定期検査に合格すること。

無線機器の点検整備は、GMDSS設備認定会社、救命設備関係の点検整備は、日本船舶品質管理協会認定会社で行うこと。

I 一般装置及びGMDSS設備定期検査受検及び点検整備

定期検査料及び手数料

- ・電波法に基づく定期検査料は、150Wを超える送信機を基本送信機とする無線局とする。
- ・手数料は電波法に基づく定期検査申請時印紙代とする。

1 第1装置 送受信機 JSS-850 (GMDSS設備) ①・②に基づく検査

○点検整備及び検査を実施

J3E 400W 14波

J3E 200W 14波

F1B 400W 3波

F1B 500W 11波

○点検整備 1式

本体及び次の各部において、開放し点検・整備・清掃すること。

また、復旧後は、調整及び動作確認をすること。

- ・コントロール部
- ・電源部
- ・送信部
- ・受信部モデム部 (バックアップ電池交換)
- ・プリンター

②MF遠隔装置

○点検整備 1式

本体及び次の各部に、おいて開放し点検・整備・清掃すること。

また、復旧後は、調整及び動作確認をすること。

- ・コントロール部
- ・プリンター
- ・キーボード

2 第2装置 送受信機 JSS - 2250 (一般装置) ①に基づく検査 1台

○点検整備及び検査を実施

J3E 200W 29波

○点検整備 1台

本体及び次の各部において、開放し点検・整備・清掃すること。

また、復旧後は、調整及び動作確認をすること。

- ・コントロール部
- ・トランシーバー部
- ・電源部

3 第3装置 送受信機 JSS - 2 2 5 0 (一般装置) ①に基づく検査 1台

○点検整備及び検査を実施

J3E 2 0 0 W 2 9 波

○点検整備 1台

本体及び次の各部において、開放し点検・整備・清掃すること。

また、復旧後は、調整及び動作確認をすること。

・コントロール部 ・トランシーバー部 ・電源部

4 第4装置 JSB - 1 2 7 2 7 MHz帯SSB送受信機 (一般装置)

①に基づく検査 1台

○点検整備及び検査を実施

J3E 2 5 W 1 6 波

H3E 6 W 1 波

○点検整備

本体を開放し、点検・整備・清掃すること。また、復旧後は、調整及び動作確認をすること。

5 第5装置 JSD - 2 8 3 2 7 MHz帯DSB送受信機 (一般装置)

①に基づく検査 1台

○点検整備及び検査を実施

A3E 1 W 5 4 波

○点検整備

本体を開放し、点検・整備・清掃すること。また、復旧後は、調整及び動作確認をすること。

6 第6装置 TV - S1 5 5 1 5 0 MHz帯DSB送受信機 (一般装置)

①に基づく検査 1台

○点検整備及び検査を実施

A3E 1 W 7 波

○点検整備

本体を開放し、点検・整備・清掃すること。また、復旧後は、調整及び動作確認をすること。

7 第7装置 JHS - 1 4 1 4 0 MHz帯DSB送受信機 (一般装置)

①に基づく検査 1台

○点検整備及び検査を実施

A3E 5 W 7 波

○点検整備

本体を開放し、点検・整備・清掃すること。また、復旧後は、調整及び動作確認をすること。

8 第1・2MF/HF受信機 NRD - 6 3 0 (一般装置) ①に基づく検査 2台

○点検整備及び検査を実施

○点検整備 2台

本体を開放し、点検・整備・清掃すること。また、復旧後は、調整及び動作確認をすること。

9 GPS JLR - 7 8 0 0 2台 (一般装置) ①に基づく検査

○点検整備及び検査を実施

○点検整備

本体を開放し、点検・整備・清掃すること。また、復旧後は、調整及び動作確認をすること。

10 気象用ファクシミリ JAX - 9 B 1台 (一般装置) ①に基づく検査

○点検整備及び検査を実施

本体を開放し、点検・整備・清掃すること。また、復旧後は、調整及び動作確認をすること。(バックアップ電池交換本船支給含む)

11 ナブテックス受信機 NCR - 7 3 3 1台 (GMDSS設備) ①・②に基づく検査

○点検整備及び検査を実施

本体を開放し、点検・整備・清掃すること。また、復旧後は、調整及び動作確認をすること。

12 第1レーダー (日本無線) JMA - 5 3 3 2 - 9 1台 (一般装置)

①に基づく検査

○点検整備及び検査を実施

○点検整備 1式

本体及び次の各部において、開放し、点検・整備・清掃すること。

・指示部 ・処理部 ・空中線部 ・簡易型AIS (FA - 5 0)

13 第2レーダー (古野) FAR - 1 4 2 7 - 2 4 AF - 1 9 1台 (一般装置) ①

に基づく検査

○点検整備及び検査を実施

○点検整備 1式

本体及び次の各部において、開放し点検・整備・清掃すること。

なお、マグネトロン及びモーターを新替し、また、復旧後は、調整及び動作確認をすること。 ・指示部 ・処理部 ・空中線部

マグネトロン及びカーボンブラシの交換を行うこと。

新替交換部品 マグネトロン MG 5 4 3 6 1個

カーボンブラシ S 8 8 5 0 2 6 - 1 A - 6 1 2個

(レーダースキャナモーター用)

14 MHF・HFデジタル選択呼出専用受信機 NRD - 8 2 0 W 1 台 (GMDSS設備)

①・②に基づく検査を実施

15 VHFデジタル選択呼出専用受信機 JHS - 3 2 A内蔵 1 台 (GMDSS設備)

①・②に基づく検査を実施

16 衛星非常用位置指示無線標識装置 Tron60AIS (GMDSS設備) ①・②に基づく検査

G1B 5W 1波

A3X 0.05W 1波

F1D 1W 2波

○点検整備及び検査を実施

○点検整備

本体を陸揚げして開放し、点検・整備・清掃すること。また、復旧後は、調整及び動作確認をすること。

17 レーダートランスポンダ JQX - 3 0 A 1 台 (GMDSS設備) ①・②に基づく検査

Q 0 N 0, 4 W 1 波

○後継機器への更新

○総務省書類作成、検査

本体交換取付後、総務省船舶局変更審査書を作成し、提出すること。また、運輸局臨時検査を受検すること。

18 双方向無線電話装置 JHS - 7 2 台 (GMDSS設備) ①・②に基づく検査

F 3 E 0, 8 W 3 波

○点検整備及び検査を実施

○点検整備 2 台

本体を陸揚げして開放し、点検・整備・清掃すること。また、復旧後は、調整及び動作確認をすること。

19 国際VHF無線電話装置 JHS - 3 2 A (GMDSS設備) ①・②に基づく検査

F 2 B 2 5 W 1 波

F 3 E 2 5 W 1 4 波

○点検整備及び検査を実施

○点検整備 2 台

本体を開放し、点検・整備・清掃すること。また、復旧後は、調整及び動作確認をすること。(遠隔装置 NCH - 4 1 4 を含む)

Ⅱ. 一般機器点検整備工事

1 監視カメラ装置 CIT - 7300 1式

本体を陸揚げして開放し、点検・整備・清掃すること。また、復旧後は、調整及び動作確認をすること。(陸揚げ時、取り付け時は高所作業車又は、足場使用)
ワイパー調整交換及び動作確認をすること。

2 空中線回転装置

空中線回転装置 点検整備 1式

船内エモテータ・コントローラを調整し点検・整備・清掃すること。また、復旧後は調整及び動作確認をすること。

* TV用八木アンテナとエモテータの方位調整・動作確認を含む。

・ エモテーター 1200FX ・ コントローラー

3 TV視聴装置

○点検整備

①BSアンテナ (陸揚げ時、取付時高所作業車又は、クレーン使用)

本体を陸揚げして開放し、点検・整備・清掃すること。また、復旧後は、調整及び動作確認をすること。

②TV受信システム (KODEN)

本体を開放し、点検・整備・清掃すること。また、復旧後は、調整及び動作確認をすること。

③TV関連外部接続装置 (回路内の増幅器及びチューナー)

本体を陸揚げして開放し、点検・整備・清掃すること。また、復旧後は、調整及び動作確認をすること。

4 電話用自動交換機 OAE-1200 点検整備 1台

本体を開放し、点検・整備・清掃すること。また、復旧後は、調整及び動作確認をすること。

* 内線及び外線の接続状態の調整・動作確認を含む。

* 各電話機の点検・動作確認を含む。

5 船内指令装置 NVA-1810MKⅡB 点検整備 1台

本体を開放し、点検・整備・清掃すること。また、復旧後は、調整及び動作確認をすること。

* 全てのスピーカー及びマイクの向き・調整を含む。